



題名のなし「展覧会

50th Anniversary Collection of Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts

2022.4.16_[土] ~ 6.26_[日]

栃木県立美術館 50年のキセキ

開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 休館日 月曜日
 観覧料 一般 800 (700) 円 / 大高生 500 (400) 円 / 中学生以下無料
 () 内は20名以上の団体料金
 無料日 6月11日(土)、12日(日)、15日(水・県民の日)

主催 栃木県立美術館 後援 朝日新聞宇都宮総局、NHK宇都宮放送局、
 エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、とちぎテレビ、
 栃木放送、日本経済新聞社宇都宮支局、毎日新聞社宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

栃木県立美術館

〒320-0043 宇都宮市桜4-2-7
 TEL.028-621-3566
<http://www.art.pref.tochigi.lg.jp/>

題名のない展覧会

50th Anniversary Collection of Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts

栃木県立美術館 50年のキセキ

新緑の季節と淡い恋心を詠った詩が、美しい色彩で刻まれた川上澄生の代表作。本作に感動した棟方志功が版画家を志したエピソードは有名です。



当館の基金購入作品第1号！ 初公開時には「お宝」を見ようと来館者数が一気に3倍に!!



当館の設立にも貢献した濱田庄司。美術館草創期にご寄贈いただいた作品は今もコレクションの「顔」です。

建替えも移転新築もせず、この地で続いて50年。古さを感じさせない建築デザインはもはや奇跡!



今でも登るのがたいへんな富士山に、江戸時代登りながら絵を描くなんて信じられますか？ 山頂のリアルな描写は必見!



集会室でお馴染みの椅子、柳宗理が当館のためにデザインした天童木工の椅子なんです!



美術館ができる前から立っていたすずかけの木。建物正面のハーフミラーガラスに映り込む姿は、知る人ぞ知る隠れた名画。

永遠に続くかのような美しい水面の映像…2羽のカモが現れたらラッキー☆



熊にまたがりご機嫌な金太郎、モデルは放菴のお孫さん。戦時中に描かれた本作には平和への願いが込められています。



芸術家や物語上の人物の肖像が柄澤の解釈で再構築された版画シリーズ。ランボーの顔に描かれた鳥や海は何を意味するのでしょうか?



光に溶け込むような描写はまさにターナー晩年の到達点。出身地イギリスやフランスの美術館からも借用のオファーが!

現在の竹工芸の人間国宝は2人だけ。勝城蒼鳳と藤沼昇、実は2人とも栃木県出身・在住です!

【交通案内】

- 電車・バス
 - ・JR東京駅から東北新幹線にて約50分
 - ・JR宇都宮駅(西口6番・7番バス乗場)、東武宇都宮駅から「関東バス作新学院・駒生行き」で約15分「桜通十文字」バス停下車 徒歩5分
- 自家用車
 - ・東北自動車道鹿沼ICより約10km、約20分
 - ・北関東自動車道壬生ICより約13km、約25分

栃木県立美術館
Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts
〒320-0043 宇都宮市桜4-2-7 TEL.028-621-3566
<http://www.art.pref.tochigi.lg.jp/>

1972(昭和47)年に開館した栃木県立美術館は2022(令和4)年、開館50周年を迎えます。その間に収集した作品は約9,000点、開催した企画展は240本にのぼります。今回の展覧会は特定のジャンルや時代、作家に注目したものではなく、当館50年のキセキを過去の企画展や選りすぐりの作品を通してたどる「題名のない展覧会」。当館の活動をご支援いただき、あたたかく見守ってくださった皆様への感謝の気持ちを込めて、企画展示室、常設展示室の全てを使って展示します。あわせて歴代の展覧会ポスターも一挙公開! 作品の制作秘話や学芸員だけが知っている裏話を織り交ぜながら、コレクションの魅力をひも解きます。50年にわたり培ってきた伝統を活かし、皆様とともに、栃木県立美術館は新たな扉を開きます。

【関連イベント】

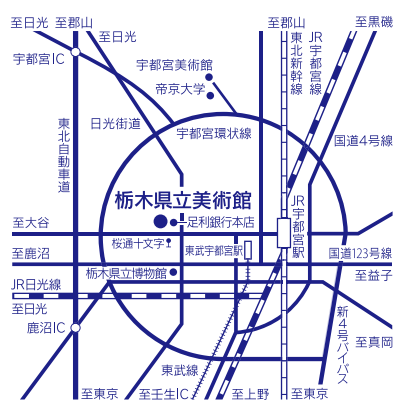
A. 担当学芸員による
ギャラリートーク *事前申込み不要
日時：4月16日(土) 午後3時30分～5月15日(日)、6月5日(日)
各回とも午後2時～(1時間程度)
会場：企画展示室・常設展示室
(当日の企画展観覧券が必要)

B. もう一度見たい!
県美コレクション総選挙
会場で配布している投票用紙にお気に入りの作品を最大3点まで記入し、投票箱に入れてください。QRコードからもご応募できます。その投票結果を今秋のコレクション展III「みんなの《推し》コレクション!」に反映させます。皆様の投票お待ちしております!

投票期間：
2022年4月16日(土)～8月31日(水)



*投票いただいた内容は館内に掲示するほか、当館SNSおよび広報物などでご紹介させていただく場合があります。
*新型コロナウイルス感染症拡大予防のため予定を変更する場合があります。詳細についてはお問合せください。



コレクション展 | 全館展示 題名のない展覧会(第5章) 4月16日(土)～6月26日(日)

- 川上澄生《初夏の風》1926年
 - 濱田庄司《柿軸赤絵扁壺》1971年
 - クロード・モネ《サン・タドレスの海岸》1864年
 - 小泉斐《富嶽全図巻》(部分) 1801-1805年頃
 - 渡辺豊重《鬼その1》2009年
 - 柳宗理《スタッキングチェア》1972年
 - 「栃木県立美術館外観」(撮影：村井修)
 - 「すずかけの木」
 - 小杉放菴《金太郎遊行》1944年
 - J.M.W.ターナー《風景・タンバリンをもつ女》1840-50年頃
 - 田中功起《By Chance(2 Ducks)》2003年
 - 柄澤齊《肖像IV アルチュール・ランボー》1982年
 - 勝城蒼鳳《千筋捺摺漆花籃「蓮」》2002年
- 全て栃木県立美術館蔵 *会期中に一部展示替えがあります。